

わたしのよいところは・・・

小学校の娘が、学校から帰ってきて言いました。

「お母さん、今日の授業、とっても楽しかったよ。」

「楽しい授業？おもしろいお話を読んだの？それとも・・・体育の時間に大好きな跳び箱でもしたのかな？」

「今日ね、4人が1つの班になって『自分のよいところ・友だちのよいところを見つけましょう』っていうのしたの。」

「へえ、よいところのを見つけっこやね。どんなことしたの？」

「最初に、まず自分のノートに、『自分のよいところ』と『自分をもっとがんばりたいなと思うところ』を2つずつ書いたの。それから、小さい紙1枚ずつに、他の3人の『よいところ』を2つずつ書いたの。」

「そっか、自分のことも友だちのことも書いたのね。」

「そう。まず、自分のことを発表した後で、他の人から『〇〇さんのよいところはこういうところですよ。』と言ってもらうの。そして、なんでそう思うかも教えてもらうの。そのあと、書いた小さい紙を交換して、自分のノートに貼っていったんだよ。」

「それで、班の人から、どんなこと言ってもらったの？」

「それがねえ、こんなこと、みんなが言ってくれたの。お母さんも見て。」

娘はそう言って、今日の授業で使ったノートを見せてくれました。

そこには、『いつも最後までいいねいにおそうじをしています。』『学校に来るといつも、おはよう、と声をかけてくれる。』など、娘のよいところがいろいろ書かれていました。

「それとね、びっくりしたことがあったの。」

「何かな。」

「これ見て。私ね、『自分をもっとがんばりたいなと思うところ』に、『もっと自分の思ったことを言うこと』って書いたの。でも、友だちは、『人の話をよく聞いてくれるよ。自分のことをはっきり言うのも大事だけど、相手の人がどう思ってるかちゃんと聞いてから自分のこと言うのも、よいところやと思うよ。だから、よいところに、人の話をよく聞いてくれる、て書いたし。』と言ってくれたの。何か、自分ではあかんと思ってたけど、それがよいところやでって言われて、びっくりした。」

「へえ、そうか。友だちが、そんなふうに言ってくれたのね。自分ではまだまだだなあと思っても、他の人から見たら、よいところやと言ってもらえたら、自信が出たんじゃない。」

「うん、そうなの。3人の友だちから、6つも自分のよいところを言ってもらって、うれしかったわ。」

そう言って笑う娘の顔を見ながら、その日の授業が、娘にとって、自分に自信が持てる時間となったことに、親として、とてもうれしい気持ちになりました。そして、私も、娘のよいところをもっと見つけていきたいと思います。